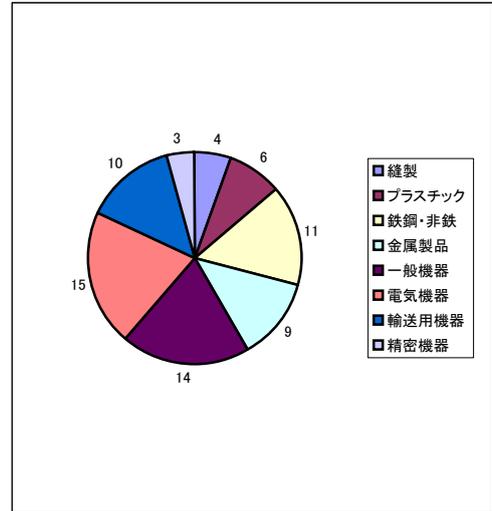


発注動向

-2008.10-

- 調査時点 平成20年10月調査(20年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 72社(回答率:48.0%)
(縫製4社、プラスチック6社、鉄鋼・非鉄11社、
金属製品9社、一般機器14社、電気機器15社、
輸送用機器10社、精密機器3社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12末時点)

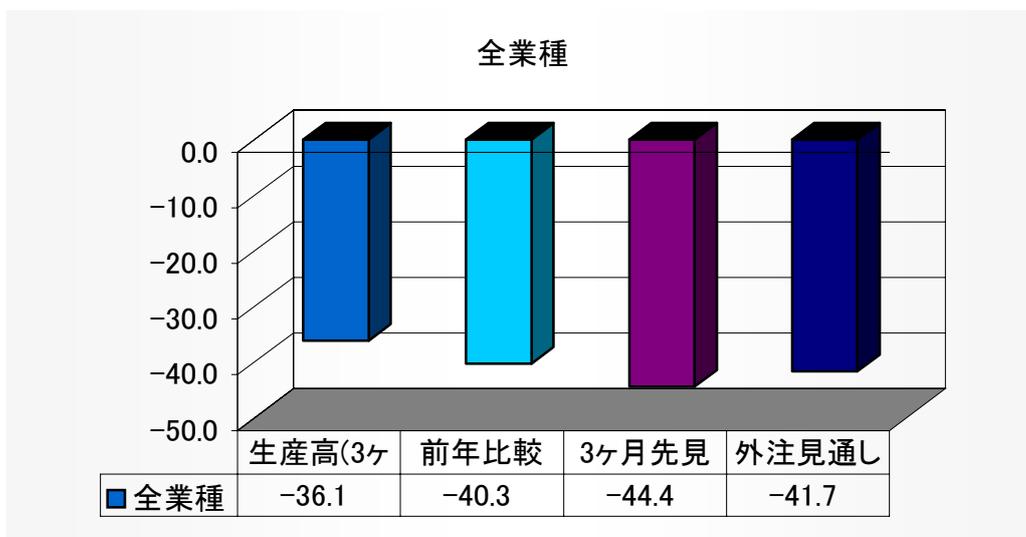
縫製	4	6.3%
プラスチック	6	9.4%
鉄鋼・非鉄	11	17.2%
金属製品	9	14.1%
一般機器	14	21.9%
電気機器	15	23.4%
輸送用機器	10	15.6%
精密機器	3	4.7%



全業種

前回調査結果(6月末時点)に比べ、生産高の3ヶ月前比は▲36.1ポイント(前回▲11.3ポイント)、生産高の前年対比は▲40.3ポイント(前回▲9.9ポイント)、生産高の3ヶ月先見通しは▲44.4ポイント(前回▲8.5ポイント)で、いずれも大幅な悪化傾向である。

外注利用の見通しについても、▲41.7ポイント(前回▲25.4ポイント)で引き続き厳しい状況が窺える。



■ 生産高

生産高の3ヶ月前比は、「精密機器」0.0ポイント(前回20.0ポイント)、「プラスチック」▲66.7ポイント(前回▲14.3ポイント)「一般機器」▲64.3ポイント(前回▲21.4ポイント)、「輸送用機器」▲60.0ポイント(前回22.2ポイント)、「電気機器」▲26.7ポイント(前回▲5.9ポイント)で大幅な減産傾向である。「金属製品」11.1ポイント(前回▲25.0ポイント)と増産傾向である。

生産高の前年対比は、「プラスチック」▲33.3ポイント(前回14.3ポイント)、「一般機器」▲57.1ポイント(前回▲21.4ポイント)、「電気機器」▲40.0ポイント(前回▲5.9ポイント)、「精密機器」▲66.7ポイント(前回60.0ポイント)、「輸送用機器」▲30.0ポイント(前回11.1ポイント)で大幅な減産傾向。

■ 業況3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは、「金属製品」▲55.6ポイント(前回0.0)、「一般機器」▲71.4ポイント(前回▲21.4ポイント)、「精密機器」▲33.3ポイント(前回40.0ポイント)、「輸送用機器」▲40.0ポイント(前回0.0)で大幅な悪化の見通し。一方、「プラスチック」は0.0ポイント(前回▲42.9)で大幅な回復の見通し。

■ 外注見通し

外注見通しは、「一般機器」▲64.3ポイント(前回▲42.9ポイント)、「電気機器」▲66.7ポイント(前回▲29.4ポイント)、「精密機器」▲33.3ポイント(前回▲0.0ポイント)、「輸送用機器」▲20.0ポイント(前回▲0.0ポイント)で大幅な悪化の見通し。一方、「鉄鋼・非鉄」▲18.2ポイント(前回▲25.0ポイント)「金属製品」▲22.2ポイント(前回▲25.0)は横ばいの見通し。

